

ユーザーズガイド

W2286L
W2486L

本製品をご使用になる前に、必ず『使用上の注意』をお読みください。ユーザーズガイド(CD)は、いつでも参照できる場所に保管してください。

製品に添付されているラベルの記載を確認し、サービスを受ける際には記載内容を販売店にご提示ください。

本製品は、お客様の安全を第一に考えて設計し製造されておりますが、間違った使い方をすると感電したり火災を発生させる危険性があります。安全のため、以下設置、使用、サービスについての基本的な注意事項を必ず守ってください。

使用上の注意

電源コードは、必ず本製品付属のものを使用してください。別の電源コードを使用する場合は、販売店に問い合わせるか、または国内基準を満たしている製品であるかを確認してください。電源コードに不具合がある場合は、メーカーまたは最寄のサービスセンターに連絡し、交換してください。

本機器は電源プラグを遮断装置として使用しております。設置した後、コンセントの抜き差しが問題なくできるかどうかを確認してください。

アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行って下さい。

本ディスプレイを使用するに当たっては、この取扱説明書の仕様に記載されている電源、またはディスプレイに記載されている電源を使用してください。使用している電源のタイプがわからない場合は、販売店にお問い合わせください。

一つのコンセントにその容量を超える数の電気製品を接続すると危険です。また、傷んだコードや破損したプラグも危険です。このような電源コードは感電や火災を起こす危険性があるので、提供されている「修理に関するご案内」カードに掲載されているサービスセンターに連絡し、交換してください。

本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

ディスプレイは絶対に分解しないでください。

- ディスプレイの内部には手を触れないでください。
- ディスプレイの内部には、電源を切っているときでも危険な高電圧が流れています。
- ディスプレイが正常に動作しない場合は、販売店に連絡してください。

事故防止のために、以下の注意事項を守ってください。

- しっかりと固定できる場合を除き、ディスプレイは平らな場所に設置してください。
- スタンドは必ずメーカーが推奨するものをお使いください。
- 製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えたりしないでください。画面に物を投げないでください。怪我、故障、破損の原因になります。

火災その他の危険を防ぐために、以下の注意事項を守ってください。

- ディスプレイを使用している部屋をしばらく空ける場合には、必ずディスプレイの電源を切ってください。決してディスプレイの電源をオンにしたまま留守にしないでください。
- ディスプレイのキャビネットの孔から中に物を落としたり押し込んだりしないでください。内部には危険な高電圧が流れている部品があります。
- このディスプレイ用に設計されている部品以外は使わないでください。
- 長期間にわたってディスプレイを使用せずに放置する場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 雷が鳴っていたり稲妻が光っている間は、電源コードや信号ケーブルには、絶対に触れないでください。感電する可能性があり、非常に危険です。

設置上の注意

電源コードの上に物を置いたり、電源コードを踏んだりしないようにしてください。また、電源コードが破損しやすい場所にはディスプレイを設置しないでください。

浴室、洗面所、台所の流し、洗濯機のそば、プールのそばなど、湿気の多い場所ではディスプレイを使用しないでください。

ディスプレイのキャビネットには通風孔があり、使用中に発生した熱を逃がすように設計されています。この通風孔をふさぐと、熱がたまって故障したり、火災の原因となる危険性があります。以下の注意事項は必ずお守りください。

- ディスプレイをベッドやソファ、カーペットなどの上に置いて、下部の通風孔をふさがないようにください。
- 適切な通風が確保できないビルトインタイプのラックには、ディスプレイを置かないでください。
- 布などで通風孔を覆ったりしないでください。
- 暖房器具や熱源の上または近くには、ディスプレイを置かないでください。

機器を水滴のかかる場所に置かないこと。

水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないこと。

アクティブマトリックスLCDを堅い物で拭いたり、叩いたりしないでください。

アクティブマトリックスLCDに傷が付いたり、破損したりする場合があります。

LCD画面に指を強く押し付けたりしないでください。残像が生じる原因になる場合があります。

画面に赤色、緑色、または青色の点が表示される場合があります。これは、ドットの欠陥によるもので、製品の性能には影響しません。

推奨する解像度をご使用になると、LCD画面は最高の画質が得られます。推奨する解像度以外をご使用になると、画像の大きさなどが調整されて表示される場合があります。これは、固定解像度のLCDパネルが持つ特性によるものです。

動きのない画像を長時間表示したままにすると、画面が損傷し、画像の焼き付きが生じる可能性があります。ディスプレイでは必ずスクリーンセーバーを使用してください。この現象は、他の製造元による製品でも同様に生じることがあり、製品保証の対象にはなりません。

スクリーンの前面や側面を金属で傷つけたり、衝撃を与えたりしないこと。

傷をつけたり衝撃を与えたりすると、スクリーンが破損する恐れがあります。

パネルが前向きになっていることを確認し、両手で持ちながら動かしてください。

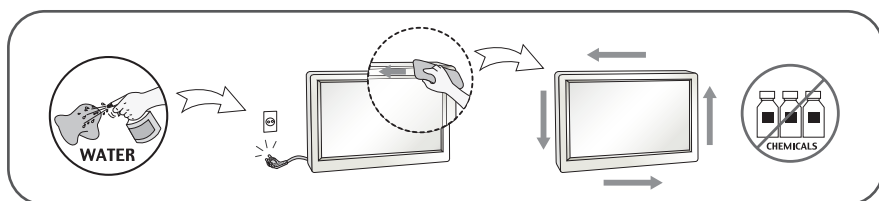
製品を落下させると、製品が破損し、感電や火災の原因となる場合があります。

修理をご希望の場合は、正規のサービスセンターまでご連絡ください。

高温・高湿は避けてください。

お手入れのしかた

- パネル面の汚れを取るときは、ディスプレイの電源コードを抜いてください。
- ディスプレイを拭くときは、軽く湿らせた(十分に水気を切った)布で拭いてください。スプレー式の洗浄液を直接パネル面に吹きかけたりしないでください。液をかけすぎると、感電する可能性があります。
- 製品のお手入れをするときは、電源コードを抜き、傷を防ぐため、やわらかい布で拭いてください。お手入れのときには、ぬれた布を使用しないでください。また、噴霧器の水または他の液体を製品に直接吹きかけないでください。感電することがあります。(ベンゼン、ペイント用のシンナー、アルコール等の化学薬品を使用しないでください)
- 柔らかい布に水を2～4回吹き付け、フレーム前面を拭いてください。一方向のみに拭くようにしてください。水分が多すぎると、シミの原因となります。



再梱包

- 外箱と梱包材は、ディスプレイを輸送するときに必要なになりますので、捨てないでください。ディスプレイを別の場所へ輸送するときには、購入時の外箱と梱包材を使用して梱包しなおしてください。

安全に廃棄するために

- 本製品を一般の家庭ゴミといっしょに廃棄しないでください。
- 本製品の廃棄は、お住まいの地域の法令に従って行ってください。

付属品

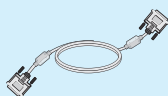
- ご購入いただいたディスプレイに、下記の付属品が含まれているか、ご確認ください。不足しているものがある場合には、販売店までご連絡ください。



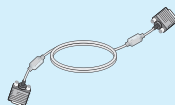
ユーザズガイド/
ユーザズカード



電源コード



DVI-D 信号ケーブル



15-ピン D-sub 信号ケーブル



ケーブルホルダー
(モデルにより付属していない場合があります。)



ACアダプター

注意

- 付属品は上図と異なる場合があります。
- ディスプレイの規格遵守には、フェラ이트コア付き信号インターフェースシールドケーブル（D-SUB15ピンケーブル、DVI-Dケーブル）を使用する必要があります。

ディスプレイの接続

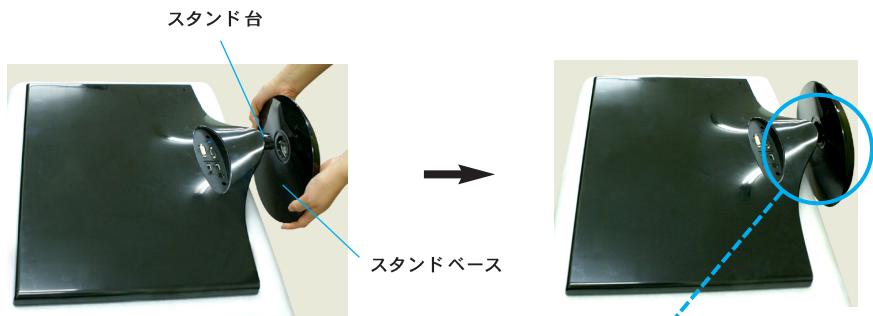
- ディスプレイを設置する前に、ディスプレイ、コンピューター、およびその他の付属装置の電源がオフになっていることを確認して下さい。

スタンドの取り付けと取り外し

1. ディスプレイの前面をクッションなどの柔らかい布の上に載せます。



2. 次の図に示すように、正しい向きでスタンドベースを製品に取り付けます。スタンドベースは、必ず奥まで押し込んでください。



正しく取り付けできた状態



正しく取り付けできていない状態

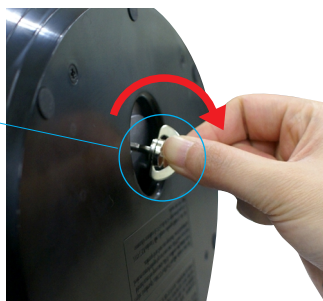


スタンドを正しく取り付けしていないとスタンドベースが落下して、破損事故や怪我につながる可能性があります。

ディスプレイの接続

3. ネジを右に回し、スタンド台をスタンドベースに固定します。

ねじ
ねじを回すときには、
ドライバーなどを使
用してください。



4. ネジを回した後、ハンドルは折りたたんでおきます。



5. 取り付けたら、注意しながらディスプレイを持ち上げて表側を正面にします。



6. スタンドベースをスタンド台から外すには、ハンドルを起こして、左に回します。



重要

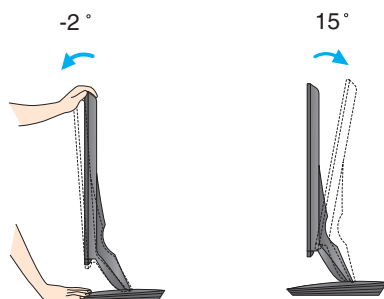
- この図は、接続の一般的なモデルを表しています。ご使用のディスプレイは、この図と異なる場合があります。
- 持ち運ぶ際には、ディスプレイを上下逆にしてスタンドベースだけを持って運ばないようにして下さい。ディスプレイが落下して破損したり、足を痛めたりする場合があります。

ディスプレイの設置

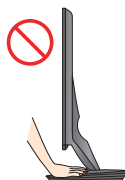
ディスプレイを設置後、下記のように角度を調整ができます。

1. 最も快適に使用できるようにディスプレイの位置を調節します。

■ 傾斜角度：-2～15度



- ディスプレイの角度を調整するときに、スクリーンに触れたり押したりしないでください。
- ディスプレイの角度を調整する際には、ディスプレイの上部とスタンド本体との間に指を挟み込まないようにご注意ください。指を傷つけるなど、けがの原因となります。



人間工学上の注意

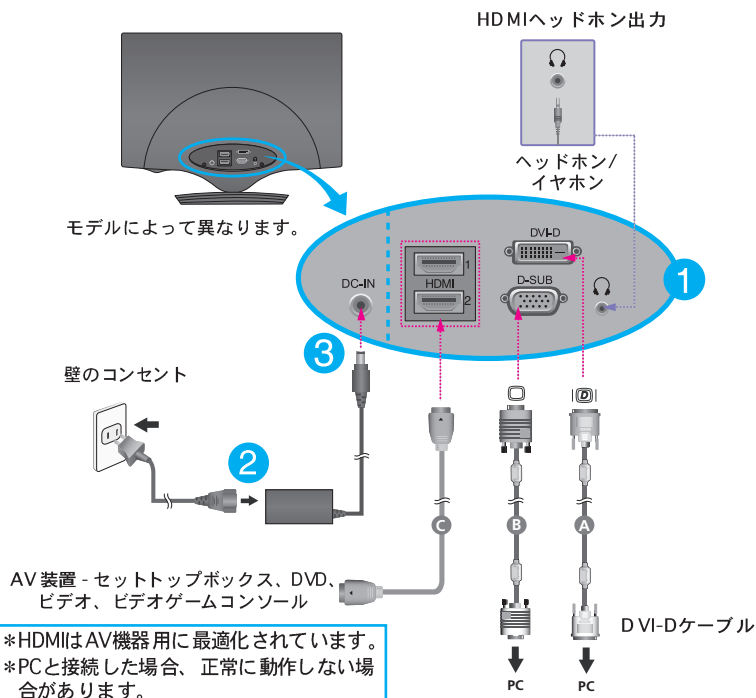
- ディスプレイの傾斜角度-5～20度ですが、人間工学的にも快適な使用のためにも、ディスプレイの傾斜角度が5度をこえないようにすることをお勧めします。

パソコン/AV器機との接続

1. ディスプレイを、コンピューター近くの風通しの良い適切な場所に設置します。
2. 信号ケーブルを接続します ①。接続できたら、両方のねじを締めてしっかり固定してください。
3. 電源ケーブル ② をACアダプター ③ に接続し、次にケーブルをコンセントに差し込みます。
 - A DM-D (デジタル信号) ケーブルを接続
 - B D-sub (アナログ信号) ケーブルを接続
 - C HDMI ケーブルを接続

注意

- この図は、ディスプレイの背面を簡単に表しています。
- この図は、一般的なモデルを表しており、ご使用のディスプレイとは異なる場合があります。



Mac用D-Sub信号入力ケーブルコネクタを接続する場合

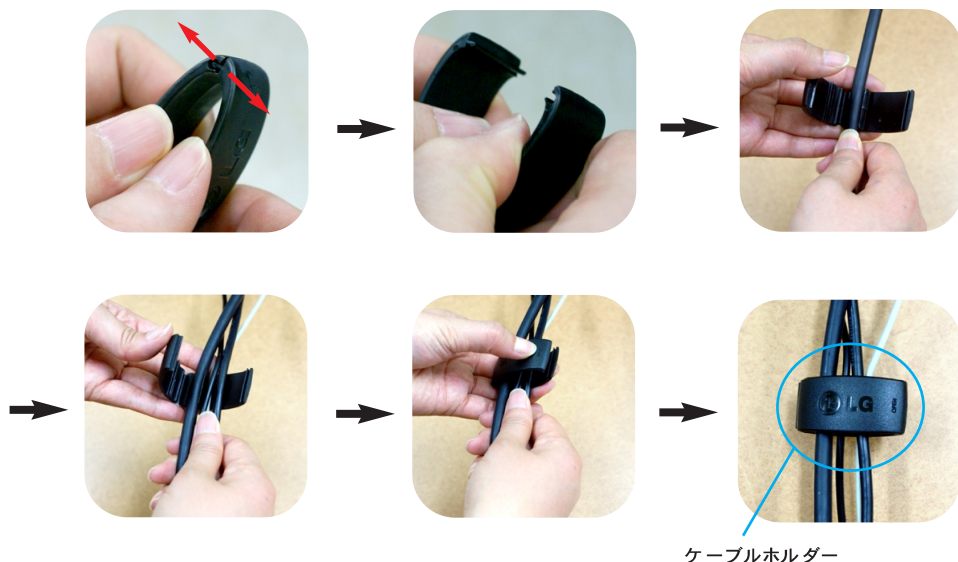


Macアダプタ

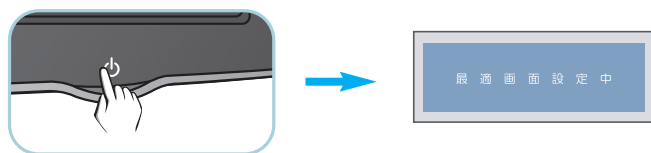
Apple Macintoshをご利用の場合は、提供されたケーブルの15ピン高密度(3列)のDsubVGAコネクタを15ピン2列のコネクタに変換するための特別なプラグアダプタが必要です。

ディスプレイの接続

4. ケーブルをまとめて、写真で示すようにケーブルホルダーを使って整理してください。(ケーブルホルダーは、モデルによっては付属していない場合があります)



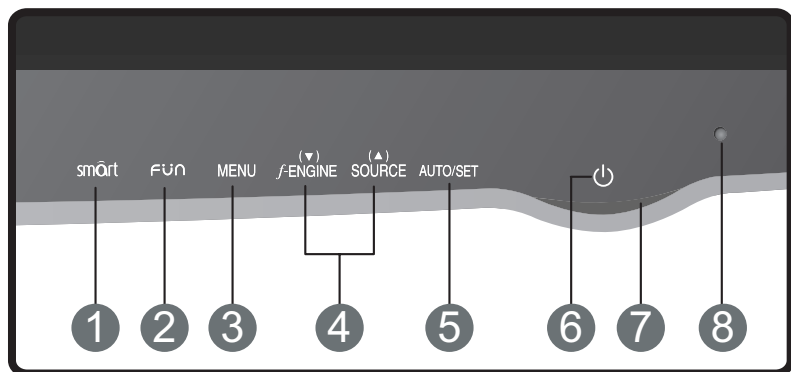
5. ディスプレイの側面にあるスイッチパネルの電源ボタン(⏻)を押して、電源をオンにします。ディスプレイの電源が入ると‘自動画像設定機能’が実行されます。(D-SUB入力のみ)



注意

- 「自動画像設定機能」とは? : この機能はオプションのディスプレイ設定を提供します。ディスプレイを初めて接続したときに、この機能が自動的に動作して個々の入力信号に応じた最適のオプション設定にディスプレイを調節します。
- 「AUTO/SET機能」とは? : デバイスの使用中あるいは画面の解像度を変更後に、画面や文字がぼやけたり、画面がちらついたり、歪んだりするなどの問題が生じたら、この「AUTO/SET」ボタンを押すと解像度が改善されます。

フロントパネルのコントロール



- 1 smart ボタン** [シネマモード]、[自動輝度]、[時間通知]、[ライブセンサー]、[SMART]モードに入るには、このボタンを使用します。
詳細については、16 ページを参照してください。

- 2 fun ボタン** このボタンを使用すると、D-SUB/DM-D信号入力の[EZ ZOOMING]、[ワイド 4:3]または[PHOTO EFFECT]に移動できます。

このボタンを使用すると、HDMI信号入力の[ワイド 4:3]、[PHOTO EFFECT]または[VOLUME]に移動できます。
詳細については、17 ページを参照してください。

- 3 MENU ボタン** このボタンはオンスクリーンディスプレイ(OSD)の起動や終了に使用します。

<OSDのロック／ロック解除>

この機能を使用すると、現在のディスプレイの設定を誤って変更することがないようにロックできます。

MENU(メニュー)ボタンを数秒間押し続けます。“OSDロック”(OSDがロックされています)というメッセージが表示されます。

MENU(メニュー)ボタンを数秒間押し続けると、ロックを解除できます。その際に“OSDロック解除”(OSDがアンロックされています)というメッセージが表示されます。



4 ▼ ▲ ボタン

このボタンでOn Screen Display(オンスクリーンディスプレイ)の機能を選択し調節します。

f•ENGINE ▼

このボタンを使用して、周囲環境（輝度、画像の種類）に応じて、最適な画像条件を選択してください。
詳細は19ページを参照してください。



SOURCE ▲ SOURCE（ソース） ホット・キー

初期入力時に、接続された入力信号を自動認識します。
入力信号を変更する場合は、お好みの入力信号を入力切替メニューから選択してください。



5 AUTO/SET ボタン

このボタンはオンスクリーンディスプレイで選択を行うときに使用します。

＜自動画像調整＞

表示設定を調整する場合は、まず AUTO/SET ボタンを押してから、オンスクリーンディスプレイを起動してください。（D-SUB入力のみ）

これにより、表示画像が現在の画面解像度(ディスプレイモード)に合う最適な設定に自動調整されます。



最良の表示モードは以下の設定です。

W2 286 L : 1680 x 1050

W2 486 L : 1920 x 1080

6 電源ボタン

このボタンは、ディスプレイの電源のオン／オフに使用します。

7 電源インジケータ

ディスプレイが正常に作動しているとき(オンモード)は、電源インジケータは赤く点灯します。
ディスプレイがスリープモード(省エネモード)のときは、電源インジケータは赤く点滅します。

8 ライトセンサー

このセンサーは周囲の明るさを測定します。
「自動輝度」がオンに設定されているときには、周囲の明るさに応じて、画面の輝度が自動的に調節されます。
デフォルト設定値は、オフです。

画面の調整

ディスプレイの画像の大きさ、位置、動作パラメーターの調整は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)コントロールシステムを使用して、すばやく簡単に行うことができます。以下に各コントロールの使い方について説明します。次ページの表は、OSDを使用して実行できる選択と調整について簡単に表しています。

OSDによる調整は、次の手順で行います。

MENU → ▲ ▼ → AUTO/SET → ▲ ▼ → MENU

メニュー画面を表示します。

設定するメニューに移動します。

メニューアイコンを選択します。

ステータスを調節します。

メニュー画面を終了します。

1. MENUボタンを押すと、OSDのメインメニューが表示されます。
2. 変更するコントロール▼ボタンまたは▲ボタンで選択して変更するコントロールのアイコンがハイライトになったら、AUTO/SETボタンを押します。
3. 変更するコントロールのレベル調節は▼▲ボタンを押します。他のサブメニュー項目の選択はAUTO/SETボタンを押して行います。
4. 他の機能を選択するにはMENUボタンを1度押し、メインメニューに戻ります。
MENUボタンを2度押すとOSDが終了します。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

次の表は、OSDを使用して実行できるコントロール、調整、および設定のメニューを簡単に表したものです。

DSUB : D-SUB (アナログ信号) 入力

DVI-D : DVI-D (デジタル信号) 入力

HDMI : HDMI 入力

メインメニュー	サブメニュー	サポート 対象の入力	説 明
シネマ モード		DSUB DVI-D	選択した動画に焦点を合わせます
自動輝度		DSUB DVI-D HDMI	画面輝度を自動的に制御します
時間通知		DSUB DVI-D HDMI	設定した時間をユーザーに通知します
ライブ センサー		DSUB DVI-D HDMI	タッチボタンLEDのライブセンサーのオンとオフが切り替わります
SMART		DSUB DVI-D HDMI	SMARTボタンメニューを調節します
EZ ZOOMING		DSUB DVI-D	解像度を調整します
ワイド4 : 3		DSUB DVI-D HDMI	画像の大きさを調整します
PHOTO EFFECT	NORMAL ぼかし セピア 白黒	DSUB DVI-D HDMI	画面のカラー モードを設定します
VOLUME		HDMI	ヘッドホン/イヤホンのボリュームを調整します

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

F-ENGINE	ムービー インターネット モード NORMAL f・エンジンデモ	DSUB DVI-D	ユーザーの操作環境に合わせてイメージ設定を選択またはカスタマイズします
	ムービー ゲーム モード 標準 スポーツ	HDMI	
PICTURE	明るさ コントラスト GAMMA	DSUB DVI-D HDMI	明るさ、コントラスト、ガンマ値を調整します
	BLACK LEVEL	HDMI	
カラー	プリセット (sRGB / 6500K / 9300K) 赤 緑 青	DSUB DVI-D HDMI	画面の色を調整します
トラッキング	水平 垂直	DSUB	画面の位置を調整します
	周波数 フェーズ	DSUB	
	画質	DSUB DVI-D HDMI	
設定	言語 OSD 位置 (水平/垂直)	DSUB DVI-D HDMI	使用環境による映像条件を調整します
	ホワイト バランス	DSUB	
	OVERSCAN	HDMI	
	RTC (W2286L のみ) 電源インジケーター リセット	DSUB DVI-D HDMI	

注意

- アイコンの順序は、モデルによって異なります(14～24ページ)。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

■■■ ディスプレイ上の smArT ボタンを押すと、OSD画面が表示されます。



■ MENU : 終了

■ ▼▲ : 移動

■ SET : 選択

メインメニュー

説明



シネマモード

選択した動画に焦点を合わせます。
この機能は、ユーザーが選択したエリア以外のエリアの輝度を調節して、周囲の状態とイメージの画質を調節し、Webブラウザ上のビデオが最適になるようにします。

* この機能は、「forteManager」がインストールされているPCでのみ動作します。

* HDMI入力には対応していません。



自動輝度

画面輝度を自動的に制御します。

「ON [オン]」が選択されているときには、周囲の明るさに応じて、この機能が画面輝度を自動的に調節し、最適表示状態になります。
「OFF [オフ]」が選択されているときには、この機能はオフになります。



時間通知

設定した時刻をユーザーに通知します。
この機能は、ユーザーが設定した時間（1時間または2時間）が経過したことを、ユーザーに通知します。この通知は、アラームOSDの表示と電源インジケータ（LED）の点滅によって行われます。

時間設定の選択：オフ/1時間/2時間



ライブセンサー

タッチボタンLEDのライブセンサーのオンとオフが切り替わります。

この機能は、ユーザーの指を感知して、ユーザーがボタンを押す前に、ボタンのLEDをオンにします。これによって、操作がより容易になります。

* 微弱な電気信号の感知（人の体が接近するなど）により、LED が動作します。



SMART

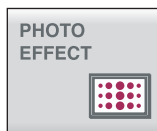
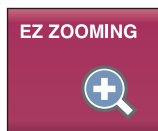
SMARTボタンメニューを調節します。
この機能は、「自動輝度」、「時間通知」および「ライブセンサー」を調節します。

「ON [オン]」が選択されているときには、「自動輝度」と「ライブセンサー」がオンになり、「時間通知」は1時間に設定されます。「OFF [オフ]」が選択されているときには、この機能すべてがオフになります。
「自動輝度」、「時間通知」および「ライブセンサー」が個々に設定されているときには、それぞれの設定が自動的に「USER [ユーザー]」に変わります。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

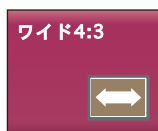
■■■ ディスプレイ上の FÜN ボタンを押すと、OSD画面が表示されます。

D-SUB/DVI-D 入力



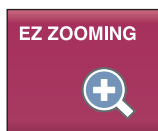
- MENU : 終了
- ▼▲ : 移動
- SET : 選択

HDMI 入力



メインメニュー

説明



EZ ZOOMING

ディスプレイの解像度を選択します。
OSDのEZ ZOOMINGを選択すると、ディスプレイの解像度が1ステップ下がり、文字や画像が大きく見えます。もう一度、EZ ZOOMINGを選択すると、元の解像度に戻ります。

- * この機能は、「forteManager」がインストールされているPCでのみ動作します。
- * HDMI入力には対応していません。



ワイド4 : 3

画面の画像サイズを選択します。



WIDE



4:3

- WIDE (ワイド)  : 映像の入力信号と関係なく、画面全体に表示されます。
- 4:3  : 映像信号の割合を4:3に変更します。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

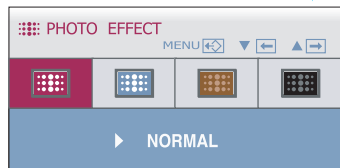
メインメニュー

説明



PHOTO EFFECT

サブメニューを表示させるには、
[AUTO/SET (自動/設定)] ボタン
を使用します。



画面のカラーエフェクトを選択します。

NORMAL

PHOTO EFFECT機能が無効にされます。

ぼかし

画質が明るく、ぼけた感じになります。

セピア

画面がセピア調（ブラウン）になります。

白黒

画面がグレー調（白黒）になります。



NORMAL



ぼかし

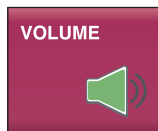


セピア



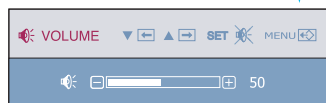
白黒

* HDMI入力では、接続デバイスによっては、
[PHOTO EFFECT] 機能が有効になりません。



VOLUME

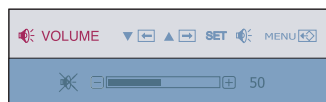
サブメニューを表示させるには、
[AUTO/SET (自動/設定)] ボタ
ンを使用します。



ヘッドホン/イヤホンのボリュームを調整します。

[AUTO/SET (自動/設定)] ボタンを押すと、[ミュート オン]になり、もう一度このボタンを押すと、
[ミュート オフ]になります。(HDMI入力のみ)

[ミュート オフ]



[ミュート オン]

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

- ■ ■ ディスプレイ左下にある F-ENGINE ボタンを押すと、下記のようにOSD画面が表示されます。F-ENGINE は使用環境(周辺の明るさ、映像の種類)によって最適化した映像条件を簡単に選択できる機能です。



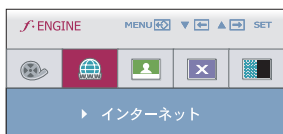
F-ENGINEを実行すると、図のように画面上に2つのトーンが表示されます。適用したときの画面が左側に表示され、適用しなかったときの画面が右側に表示されます。使いたいファンクションを選択して、「MENU」(メニュー)ボタンを押すと、設定が保存されます。

メインメニュー	サブメニュー	説明
---------	--------	----



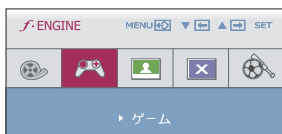
ムービー ビデオや映画など、動画を見る時に選択してください。

D-SUB/DVI-D入力



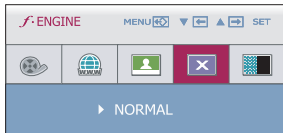
インターネット インターネットや文書作業（Wordなど）時に選択してください。

HDMI入力



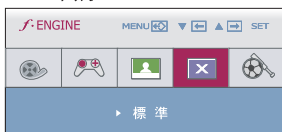
ゲーム 長時間、ゲームをする時に選択してください。

D-SUB/DVI-D入力



NORMAL 一般的な使用環境で選択してください。

HDMI入力



標準 入力する元の標準映像として使用したい時に選択してください。

*標準モードは F-ENGINE がオフになったモードです。

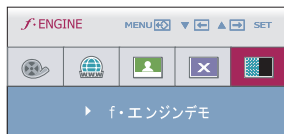
オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

メインメニュー

サブメニュー

説明

D-SUB/DVI-D入力



f・エンジンデモ

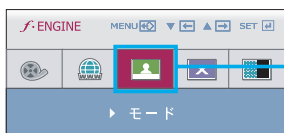
売場の広告用に使います。画面を半分に分割して、左は標準画面、右は動画モードを適用、ユーザーが動画モード適用の前後を確認できます。

HDMI入力



スポーツ

スポーツの映像を見る時に選択してください。

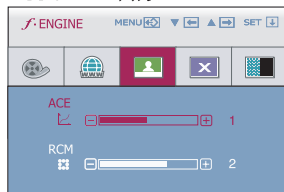


モード

モードサブメニュー機能調節するには、AUTO/SETボタンを押します。

これによって、ユーザーはACE、RCM (D-SUB/DVI-D入力の場合のみ)、HUE またはSATURATION (HDMI入力の場合のみ)を調節できます。異なる環境設定を使用していても、調整した値を保存したり、元に戻したりできます。

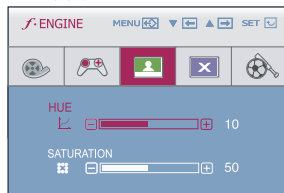
D-SUB/DVI-D入力



- ACE (Adaptive Clarity Enhancer)
: 明度モードを選択します。

0	非適用
1	明瞭度、輝度コントラスト低
2	明瞭度、輝度コントラスト高

HDMI入力



- RCM (Real Color Management)
: 色モードを選択します。

0	非適用
1	緑色強調
2	フレッシュトーン
3	色拡張

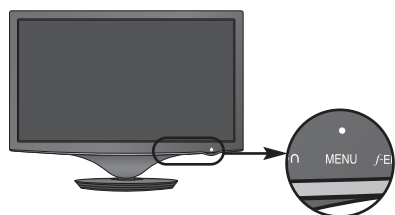
- HUE : 画面の色調を調整します。

- SATURATION : 色の鮮明度を調節します。
鮮明度が高いほど色が暗くなり、鮮明度が低いほど色が明るくなります。

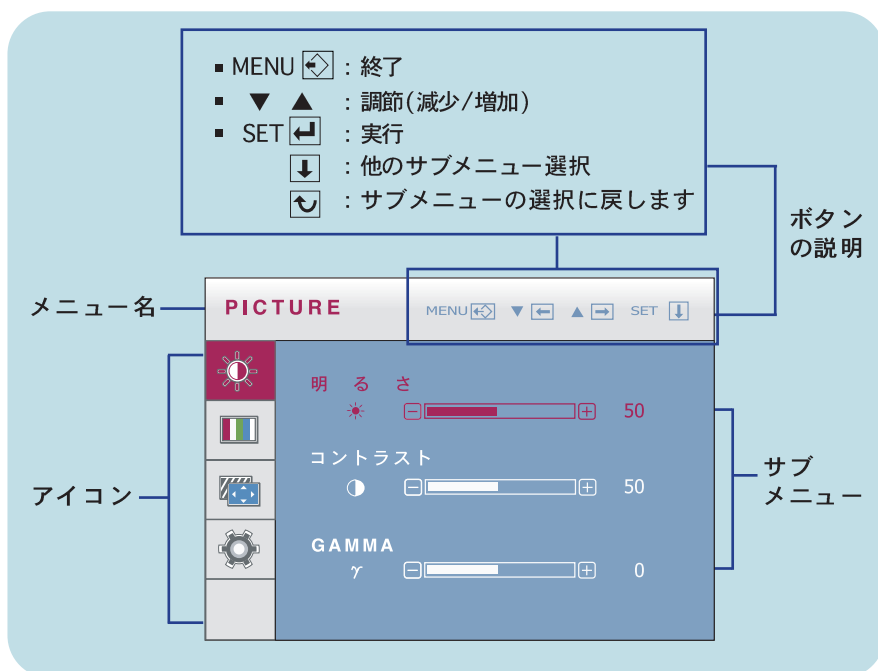
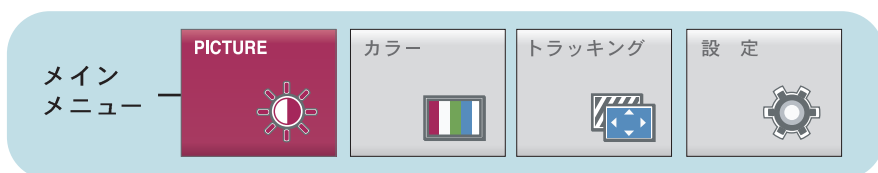
- MENU : 終了
- ▼ : 減少
- ▲ : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

- OSDによる選択と調整の手順について説明します。前ページの表に示した各項目のメニュー名、アイコンは次の図のように表示されます。



MENUボタンを押すと、OSDのメインメニューが表示されます。



注意

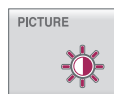
- ディスプレイ上に表示されるOSDメニューの言語は、本ユーザーズガイドの表記と異なることがあります。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

メインメニュー

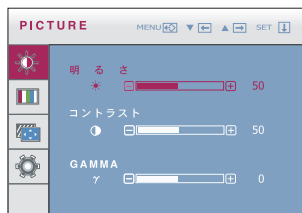
サブメニュー

説明



PICTURE

D-SUB/DVI-D 入力



明るさ

画面の明るさを調整します。

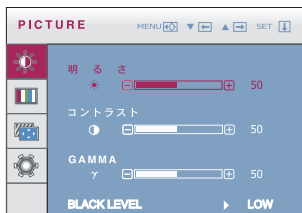
コントラスト

画面のコントラストを調整します。

GAMMA

-50/0/50でガンマ値を調整します。高いガンマ値にするとコントラストの弱い画像になり、低いガンマ値にするとコントラストの強い画像になります。

HDMI入力



BLACK LEVEL

オフセットの水準を設定します。「高」を選択すると画面が明るくなり、「低」を選択すると画面は暗くなります。(HDMI入力のみ)

*オフセットとは？ 映像信号の基準で、ディスプレイが表示できる最も暗い画面です。

- MENU : 終了
- ▼ : 減少
- ▲ : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択



カラー

プリセット

画面の色を選択します。

- ・ sRGB : 画面の色を sRGB 標準色規格に合わせるように設定します。
- ・ 6500K : 赤みがかったホワイトに設定します。
- ・ 9300K : 青みがかったホワイトに設定します。



赤

個別に赤色レベルを設定します。

緑

個別に緑色レベルを設定します。

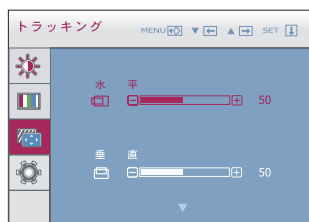
青

個別に青色レベルを設定します。

- MENU : 終了
- ▼ : 減少
- ▲ : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択



トラッキング



水 平

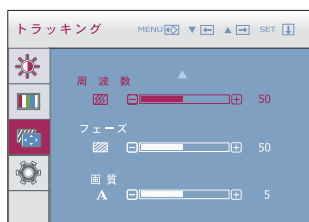
画像を左右に移動させます。

垂 直

画像を上下に移動させます。

周 波 数

画面のバックグラウンドに表示できるすべての垂直バーまたは垂直ストライプを最小化します。水平画面のサイズも変更されます。



フ ェ ーズ

画面の焦点を調整します。この機能は、水平ノイズを取り除いて、文字画像を鮮明にします。

画 質

画面の鮮明度を調整します。

- MENU : 終了
- ▼ : 減少
- ▲ : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

メインメニュー

サブメニュー

説明



設定



言語

コントロール名を表示する言語を選択します。

OSD位置

OSDウィンドウの位置を調整します。

ホワイト
バランス

ビデオ・カード出力が本製品の仕様と異なる場合、ビデオ信号に歪みが生じてカラー・レベルが低下する可能性があります。この機能を用いると、ビデオ・カードが標準出力レベルに合うように信号レベルが調節され、最適画像が得られます。

スクリーンに白色や黒色が出る場合は、この機能を動作させてください。(D-SUB入力のみ)

D-SUB 入力



OVERSCAN

HDMIや外部装置と接続した際に、画像の端に発生するノイズをフィルター除去する機能です。この設定をオンにすると、オリジナルの画像がノイズなしで拡大されます。この設定をオフにすると、ノイズを無視してオリジナルのサイズで表示します。(HDMI入力のみ)

HDMI 入力



R T C

RTCをON(オン)にすると、レスポンスタイムコントロール機能が有効になり、画面上の残像が減ります。RTCをOFF(オフ)にすると、レスポンスタイムコントロール機能が無効になります。(W2286Lのみ)

電源イン
ジケータ

この機能は、ディスプレイの前面にある電源インジケータのオン、オフを切り換えます。オフに設定すると、インジケータは消灯します。(電源を入れた際には、15秒間インジケータが点滅した後、消灯します。) オンに設定すると、電源インジケータは、常に点灯した状態になります。

- MENU : 終了
- ▼ : 調節
- ▲ : 調節
- SET : 他のサブメニュー選択

リセット

工場出荷時の設定にすべて戻します。すぐにはリセットするには、▼, ▲ ボタンを押します。(「言語」は除く)

注意

- この操作でスクリーンの画像の状態が改善しないときは、工場出荷時の初期設定に戻してください。必要に応じて、ホワイトバランス機能を再度実行してください。入力がD-SUB入力のときのみこの機能が有効になります。

サービスセンターに連絡する前に、次のことを確認してください。

画像が表示されない。

- | | |
|---------------------------------|---|
| ● ディスプレイの電源コードが接続されていますか。 | ・ 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうか確認してください。 |
| ● 電源インジケータが点灯していますか。 | ・ 電源ボタンを押してください。 |
| ● 電源が入り、電源インジケータが赤色に点滅していますか。 | ・ 明るさとコントラストを調整してください。 |
| ● 電源インジケータが点灯していますか。 | ・ ディスプレイが節電モードになっている場合は、マウスを動かすか、またはキーボードのいずれかのキーを押して画面を起動してください。
・ コンピューターの電源をオンにしてください。 |
| ● 画面に“範囲超過”というメッセージが表示されていませんか。 | ・ このメッセージは、コンピューター(ビデオカード)からの信号がディスプレイの水平または垂直の周波数レンジを超えた場合に 표시됩니다。本ユーザズガイドの「仕様」(25~26ページ)を参照し、ディスプレイを設定し直してください。 |
| ● 画面に“チェックシグナルケーブル”と表示されていませんか。 | ・ このメッセージは、コンピューターとディスプレイ間の信号ケーブルが接続されていない場合に 표시됩니다。信号ケーブルが正しく接続されているかを確認して、もう一度試してください。 |

画面に“OSDロック”というメッセージが表示される。

- | | |
|---|---|
| ● MENUボタンを押すと、“OSDロック”というメッセージが表示されますか。 | ・ “OSDロック”がかかっていると不注意で各種設定を変更してしまわないよう、MENUボタンなどが操作できない状態になっています。
MENUボタンを数秒間押し続けるとOSDコントロールがアンロックされ、“ロック解除”というメッセージが表示されます。 |
|---|---|

表示画像が正しくない。(1)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 画像の表示位置が正しくない。 | <ul style="list-style-type: none">・ AUTO/SETボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある「水平位置」のアイコンや「垂直位置」のアイコンを使用して、画像位置を調整します。 |
| <ul style="list-style-type: none">● 画面のバックグラウンドに垂直バーや垂直ストライプが表示される。 | <ul style="list-style-type: none">・ AUTO/SETボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある「周波数」アイコンを使用して、垂直バーや垂直ストライプを小さくします。 |
| <ul style="list-style-type: none">● 画像や文字中に現れる水平ノイズが鮮明に表示されない。 | <ul style="list-style-type: none">・ AUTO/SETボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある「フェーズ」アイコンを使用して、水平バーを小さくします。・ コントロールパネル → 画面 → 設定でディスプレイが推奨されている解像度に設定され、画面が適切に表示されていることを確認してください。色の設定は、24ビット(True Color)以上にしてください。 |

重要

- コントロールパネル → 画面 → 設定で周波数と解像度が変更されていないか確認してください。変更されている場合、ビデオカードを推奨されている解像度に設定し直してください。
- 推奨されている解像度(最適な解像度)が選択されていないと、画面や文字がぼやけたり、画面がちらついたり、歪んだりすることがあります。推奨されている解像度が選択されていることを確認してください。
- 設定方法は、コンピューターやOS(オペレーティングシステム)によって異なることがあります。また、推奨解像度はビデオカードによってはサポートされていないことがあります。このような場合は、コンピューターまたはビデオカードの製造元にお問い合わせください。

表示画像が正しくない。(2)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 画面の色が白黒または正常ではない。 | <ul style="list-style-type: none">・ 信号ケーブルが正しく接続され、しっかりとねじで固定されているかどうか確認してください。・ ビデオカードがスロットに正しく装着されているか確認してください。・ 画面の設定で、色を24ビット(True Color)以上に設定してください。 |
| <ul style="list-style-type: none">● 画面が点滅する。 | <ul style="list-style-type: none">・ 画面がインターレースモードに設定されているかどうか確認してください。その場合、推奨されている解像度に設定し直してください。 |

“ディスプレイを認識できません。Plug&Play (VESA DDC) モニターが検出されました”というメッセージが表示されていませんか。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">● ディスプレイのドライバをインストールしていますか。 | <ul style="list-style-type: none">・ 付属のディスプレイドライバ CD(またはフロッピーディスク)からディスプレイのドライバをインストールしてください。またWebサイト http://www.lge.com からドライバをダウンロードすることもできます。・ ビデオカードがプラグ&プレイ機能をサポートしているか確認してください。 |
|---|--|

音声機能が動作しない

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 映像は正常だが音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none">・ 音量が「0」になっていないか確認してください。・ 音声ミュートになっていないか確認してください。・ HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。・ ヘッドホンケーブルが正しく接続されているか確認してください。・ 音声形式を確認してください。圧縮形式の音声でないことを確認してください。 |
|---|--|

ディスプレイ	21.995 インチ (55.8673 cm) フラットパネルアクティブマトリックス-TFTLCD Anti-glareコーティング 表示可能対角線サイズ : 55.8673 cm 0.282 x 0.282 mm (ドットピッチ)	
同期信号入力	水平周波数 垂直周波数 入力形態	30-83kHz (自動) 56-75Hz (自動) セバレート同期 SOG (Sync On Green)、デジタル
ビデオ入力	信号入力 入力形態	15ピンD-Subコネクタ DVI-Dコネクタ(デジタル) HDMIコネクタ (デジタル) RGBアナログ(0.7Vp-p/75オーム)、デジタル、HDMI
解像度	MAX 推奨	1680 x 1050@60Hz 1680 x 1050@60Hz
プラグ&プレイ	DDC 2B	
消費電力	オンモード スリープモード オフモード	: 27W(標準値) ≤ 1W ≤ 1W
外形寸法	幅 高さ 奥行 質量	スタンドを含む 51.97 cm / 20.46 インチ 43.73 cm / 17.22 インチ 19.84 cm / 7.81 インチ 4.1 kg (9.04 ポンド) スタンドを含まず 51.97 cm / 20.46 インチ 42.57 cm / 16.76 インチ 8.46 cm / 3.33 インチ
チルト	傾斜角度	-2~15度
入力電源	12V 2.0A	
ACアダプター	Lien Chang, LCAP07F	
環境条件	作業条件 温度 湿度 保管条件 温度 湿度	10℃ ~ 35℃ 10% ~ 80% (無結露) -20℃ ~ 60℃ 5% ~ 90% (無結露)
スタンド・ベース	独立	
電源コード	壁コンセントタイプ	

注意

- 本ユーザーズガイドの情報は、予告なしに変更することがあります。

ディスプレイ	24 インチ (60.97 cm) フラットパネルアクティブマトリックス-TFT LCD Anti-glareコーティング 表示可能対角線サイズ: 60.97 cm 0.2767 x 0.2767 mm (ドットピッチ)	
同期信号入力	水平周波数 垂直周波数 入力形態	30-83kHz (自動) 56-75Hz (自動) セバレート同期 SOG (Sync On Green)、デジタル
ビデオ入力	信号入力 入力形態	15ピンD-Subコネクタ DVI-Dコネクタ(デジタル) HDMIコネクタ (デジタル) RGBアナログ(0.7Vp-p/75オーム)、デジタル、HDMI
解像度	MAX 推奨	1920 x 1080@60Hz 1920 x 1080@60Hz
プラグ&プレイ	DDC 2B	
消費電力	オンモード スリープモード オフモード	: 28 W(標準値) ≤ 1 W ≤ 1 W
外形寸法	幅 高さ 奥行 質量	スタンドを含む 57.74 cm / 22.73 インチ 44.05 cm / 17.34 インチ 19.84 cm / 7.81 インチ 4.7 kg (10.36 ポンド) スタンドを含まず 57.74 cm / 22.73 インチ 43.00 cm / 16.93 インチ 8.41 cm / 3.31 インチ
チルト	傾斜角度	-2~15度
入力電源	12V ≒ 2.1A	
ACアダプター	Lien Chang, LCAP07F	
環境条件	作業条件 温度 湿度 保管条件 温度 湿度	10℃ ~ 35℃ 10% ~ 80% (無結露) -20℃ ~ 60℃ 5% ~ 90% (無結露)
スタンド・ベース	独立	
電源コード	壁コンセントタイプ	

注意

- 本ユーザーズガイドの情報は、予告なしに変更することがあります。

P C入力プリセットモード(解像度)

- D-sub(アナログ)/DVI-D(デジタル)入力

W2286L

ディスプレイモード(解像度)			水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
1	VGA	720 X 400	31.468	70
2	VESA	640 x 480	31.469	60
3	VESA	640 x 480	37.500	75
4	VESA	800 x 600	37.879	60
5	VESA	800 x 600	46.875	75
6	VESA	1024 x 768	48.363	60
7	VESA	1024 x 768	60.123	75
8	VESA	1152 x 864	67.500	75
9	VESA	1280 x 1024	63.981	60
10	VESA	1280 x 1024	79.976	75
11	VESA	1680 x 1050	64.674	60
*12	VESA	1680 x 1050	65.290	60

* 推奨モード

W2486L

ディスプレイモード(解像度)			水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
1	VGA	720 X 400	31.468	70
2	VESA	640 x 480	31.469	60
3	VESA	640 x 480	37.500	75
4	VESA	800 x 600	37.879	60
5	VESA	800 x 600	46.875	75
6	VESA	1024 x 768	48.363	60
7	VESA	1024 x 768	60.123	75
8	VESA	1152 x 864	67.500	75
9	VESA	1280 x 1024	63.981	60
10	VESA	1280 x 1024	79.976	75
11	VESA	1680 x 1050	64.674	60
12	VESA	1680 x 1050	65.290	60
*13	VESA	1920 x 1080	67.500	60

* 推奨モード

HDMIビデオ入力

ディスプレイモード(解像度)		水平周波数 (kHz)	垂直周波数(Hz)
1	480P	31.50	60
2	576P	31.25	50
3	720P	37.50	50
4	720P	45.00	60
5	1080i	28.12	50
6	1080i	33.75	60
7	1080P	56.25	50
8	1080P	67.50	60

インジケーター

モード	LED 色
オンモード	赤色
スリープモード	赤色の点滅
オフモード	オフ

Digitally yours ■■■■■

